

別紙様式 2 (シラバス見本)

授業科目名	生活講座 I	大学名	宇都宮共和大学
科目区分	VU連携講座	開講時期	前期 (4月6日～7月27日)
学部・学科等	子ども生活学部	曜日	木曜日
必修・選択区分	各大学等で決定される	時限 (時間)	2時限 (10時50分～12時20分)
標準対象年次	全学年	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	宇都宮共和大学長坂キャンパス
担当教員名	桂木奈巳、百田裕子		
電話番号 (代表者名)	028-649-0511	e-mail アドレス	katsuragi@kyowa-u.ac.jp
オフィスアワー	特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p><授業の目標及びねらい> 子どもの生活と密接にかかわるためには、まず、学生自身が自立した生活者であることが大切な条件となる。そのうえで、子どもの生活について学んでいくことで、子どもの生活を理解し、実践することが可能となる。自立した生活者であるために、衣と住生活等に関する科学的・実践的な知識を得るとともに、食育をテーマとした食生活の重要性についての理解を深める。</p> <p><前提とする知識・経験> 特に必要としません</p> <p><授業の具体的な進め方> 自立した生活者となるために必要な基本的知識を学ぶ。これを子どもの視点から衣食住生活を理解し、実践できるようになることを目的として授業を進める予定である。</p> <p><授業計画></p> <p>第1週 「家事をする」 ことについて 第2週 科学的思考とは 第3週 食べ方を知る 第4週 食べた物の行方 第5週 正しいダイエット法とは 第6週 眠ること 第7週 感じること①ヒトの五感について 第8週 感じること②「味覚」について 第9週 捨てること 第10週 洗うこと①洗剤について 第11週 洗うこと②環境問題 第12週 動作すること 第13週 装うこと 第14週 住むこと①快適な住生活について 第15週 <u>住むこと②子どもが安全に暮らせる室内環境</u></p> <p><教科書・参考書・教材と入手方法> 参考書: 中川英子編著、「福祉のための家政学」、建帛社、2010</p> <p><成績評価法> 例) 演習課題 (30%)と学期末試験 (70%)の結果を総合して評価する。2/3 (期末試験を含めて 10 回) 以上出席しないと評価の対象としない。(単位を取得できない。)</p> <p><教員からのメッセージ> 授業で学んだ知識を自分の生活に反映する習慣をつけることが望ましい。</p>		

